

詩集 うたうゆうれい

小杉元一 著

つい先立って中宮寺の弥勒菩薩さまにお会いしてきた。五月のよく晴れた日であった。生け垣をまわるとすぐにそのお方のお姿を遠くからでも見分けることができる。その日はわたし以外の参拝者の影はなかった。池の上に突き出た本殿は三方が開け放たれ、すずしい風とみどりのひかりがあふれている。隅に受付の女性がつくねんと座しているばかりであった。わたしは菩薩さまと真正面に向き合い、端座したまま、のどかにそのお姿を眺め、思いをかわすことができた。知らず識らずのうちに手を合わせていたが、信仰や美術鑑賞の対象ではなく、どこかなつかしいひととようやく出会うことができた、そんなひとときであったと思う。

この新しい詩集を上梓してゆくなかで、どういうわけか、その本堂のみどりあふれる静寂さと、半跏思惟する菩薩さまのやわらかなくろいお姿をいくども思い起こした。
(あとがきより)

■小杉元一 (こすぎ・もといち)



略歴
1947年釧路市生まれ。明治大学卒。
公共図書館業務に従事。

詩歴
詩誌「原」(釧路市)・詩誌「不羈」(帯広市)・
詩誌「EOS」(札幌市)・「別冊奥の細道」(札幌市)に所属。個人詩誌「水のはら」・個人詩誌「Le cahier」主宰。詩集「水蛇」(2001年) 発刊／釧路文学賞受賞。詩集「素足にへびをふむ」(2014年) 発刊／北海道新聞文学賞詩部門佳作入賞

けふもみぞれはふりしきり
どこもかしこも灰色にせんそうはふりしきり
あんじゅうごん あんじゅんぐん 安重根
あなたもまたひとりのへいしとして傷んだひかりのふりしきる
哈爾濱の停車場で初代韓国統監いとうひろぶみに
三発の銃弾をうちこむのですがかわいた銃声は高くあがり
くすれおちるのは老いたひとりの政治家と
あなたがいなくなつたあとの朝鮮の山河だけであり
そこからながい併合の時代がはじまり哈爾濱のくもり空は
変わらずにその後は満州国の光景へつづいてゆき
あんじゅうごん あんじゅんぐん 安重根
けふもさむくみぞれはふりしきり
はなすなれつとう ちようせん・かんはんとく ちゅうごくたいりく
たんぼぼのわたげはとんでゆく とばされてゆく
どくりつや せいぎや かいほうは 空にちぎれ血のにじんだまま
とんでゆく かるがると とばされてゆく
(明治のたんぼぼ)

目次
うたうゆうれい ◆ 4
わたしという抽象性 ◆ 10
海溝 ◆ 14
顔パンツ ◆ 20
明治のたんぼぼ ◆ 28
インド ◆ 40
牛ののって ◆ 48
丘のうえのとしょかん ◆ 54
海辺のとどろき ◆ 58
ほのほ ◆ 62
走る鬼 ◆ 68
唐船 ◆ 74

初出一覧
「奥の細道：別冊」 2号 2016年3月
「奥の細道：別冊」 1号 2016年2月
「le cahier」 5号 2021年11月
「le cahier」 3号 2021年3月
「奥の細道：別冊」 21号 2018年6月
「奥の細道：別冊」 18号 2017年12月
「奥の細道：別冊」 19号 2018年2月
「le cahier」 4号 2021年7月
未発表 2022年1月
「奥の細道：別冊」 13号 2017年2月
「奥の細道：別冊」 12号 2016年12月
「奥の細道：別冊」 12号 2016年12月

書店番線	発行：藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546	
月日	詩集 うたうゆうれい	
冊	小杉元一 著	2022年7月16日 第1刷発行 発行所 藤田印刷エクセレントブックス 判型 A5判(80頁) 印刷・製本 藤田印刷株式会社
	定価1,650円(税込) ISBN 978-4-86538-141-2 C0092 ¥1500E	

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで